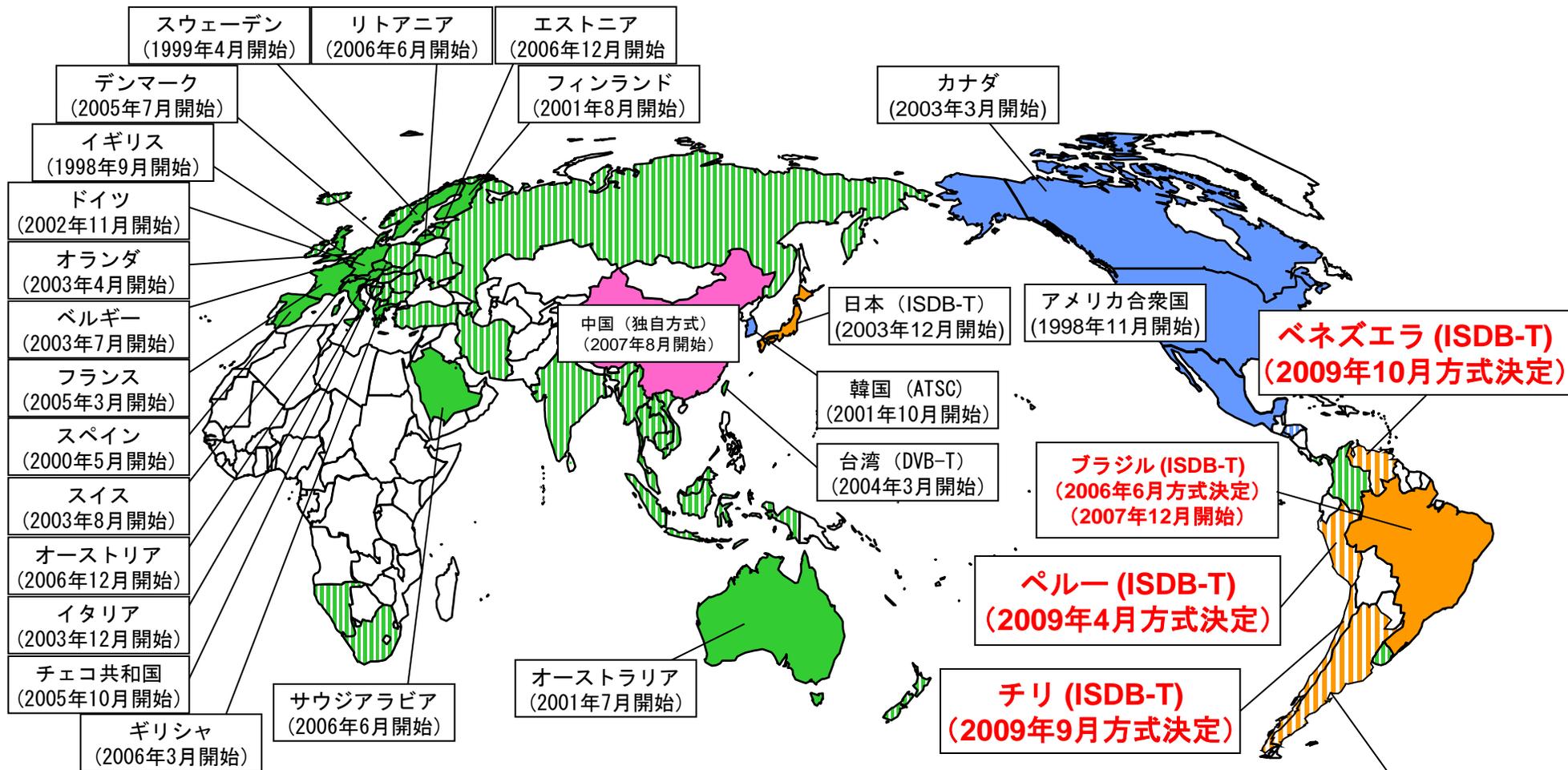


地上デジタルテレビジョン放送日本方式の 国際展開の状況について

世界各国の地上デジタルテレビ放送の動向



日本方式 (ISDB-T) ■ : 開始済 ▨ : 予定
(Integrated Services Digital Broadcasting - Terrestrial)

欧州方式 (DVB-T) ■ : 開始済 ▨ : 予定
(Digital Video Broadcasting - Terrestrial)

米国方式 (ATSC) ■ : 開始済 ▨ : 予定
(Advanced Television Systems Committee)

2009年10月現在
出典:OECD報告書他各種資料

世界の地上デジタルテレビ放送方式



世界標準 (ITU-R標準) となっている地上デジタル放送方式には、日本方式、欧州方式、米国方式の3方式があり、また中国の独自規格として中国方式が存在する。

日本方式は一つのチャンネルで固定向けかつ移動向けの放送サービスを実現したり、緊急警報放送が実際に行なわれているなど最も優れた方式。

	日本方式 ISDB-T	欧州方式 DVB-T	米国方式 ATSC	中国方式 DTMB
伝送方式	<p>6/7/8MHz幅 ※但し6MHzのみ実用化 固定向け</p> <p>周波数</p> <p>携帯向け (ワンセグ)</p> <p>マルチキャリア (13セグメント構造になっており、移動体向けや固定向けの柔軟なサービスが可能)</p>	<p>6/7/8MHz幅 ※7/8MHzが主流</p> <p>周波数</p> <p>マルチキャリア</p>	<p>6/7/8MHz幅 ※但し6MHzのみ実用化</p> <p>周波数</p> <p>シングルキャリア (アナログTV方式の改良版)</p>	<p>6/7/8MHz幅 ※但し8MHzのみ実用化</p> <p>周波数</p> <p>欧州方式改良版 マルチキャリア</p> <p>米国方式改良版 シングルキャリア</p> <p>欧州方式改良版と米国方式改良版が混在。 規格の統一がとれていない。</p>
携帯端末 向放送	同一のテレビチャンネルで可能 (ワンセグ)	別のテレビチャンネルが必要	別のテレビチャンネルが必要	別のテレビチャンネルが必要
緊急警報 放送	サービス実施中	サービス未実施	サービス未実施	サービス未実施

デジタル放送日本方式海外普及の現状

(2009年10月現在)

ブラジルに続き、ペルー、アルゼンチン、チリ、ベネズエラの日本方式採用決定は、南米諸国の日本方式採用決定を後押しするものと期待される。(南米で人口比約80%のシェアを占める。)

日本方式の採用決定国

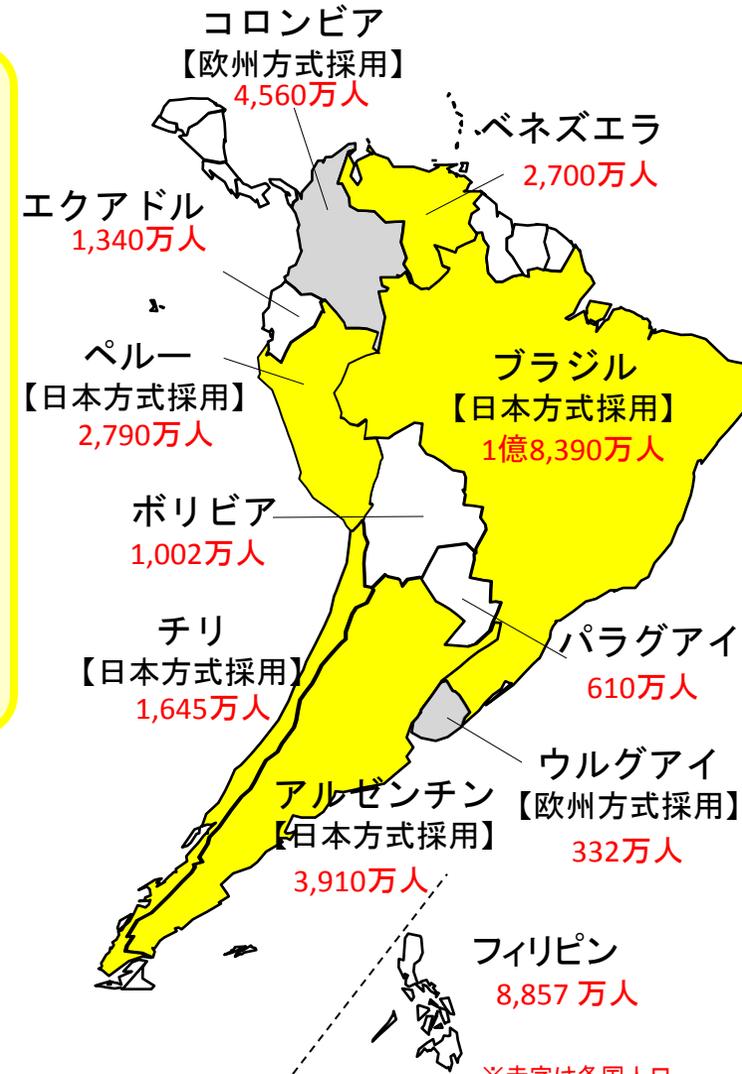
○ブラジル:	2006年6月29日	日本方式採用決定
	2007年12月	放送開始
○ペルー:	2009年4月23日	日本方式採用決定
	2010年3月	放送開始予定
○アルゼンチン:	2009年8月28日	日本方式採用決定
○チリ:	2009年9月14日	日本方式採用決定
○ベネズエラ:	2009年10月6日	日本方式採用決定

欧州方式の採用決定国

○コロンビア、ウルグアイ

検討中の国

○南米ではエクアドル、ボリビア、パラグアイが検討中。
東南アジアではフィリピンが検討中。



※赤字は各国人口
※我が国と同じ6MHzのチャンネル周波数幅を使用する南米諸国及びフィリピンに対し、日本方式採用の働きかけを行っている。